

民話と伝承の里じっくりコース



作画・あさののい

庚申塔

60日ごとに巡ってくる庚申（かのえさる）の日の夜、人の体内にいる虫が抜け出し、天帝に悪事を告げる。それを防ぐため、男達は庚申講（こうしんこう）に集い、酒を飲んで寝ずに見張った。その証しが庚申塔だ。石塔は市内随所にあり、多くは道しるべを兼ねた。何基かの庚申塔を後から集めた所が多い。当時から100基並べた「百庚申塚」も武西（むざい）、浦部、小林などにあり、武西の百庚申塚は、江戸末期（1860年代）の面影を残している。



武西の百庚申塚



印旛沼の朝焼け



石造物調査

薬師堂は国指定重要文化財
 泉福寺薬師堂
 西福寺
 宗像神社（岩戸）
 印旛西部公園
 岩戸出張所
 印旛歴史民俗資料館
 実物中心の展示が魅力
 「岩戸」バス停
 岩戸

印旛沼を望む地を訪ねて

距離：約6km

- 「師戸」バス停
- 県立印旛沼公園（師戸城跡）
- 宗像神社（師戸）
- 湧水の池
- 長円寺
- 泉福寺薬師堂
- 西福寺
- 宗像神社（岩戸）
- 印旛西部公園
- 印旛歴史民俗資料館
- 「岩戸」バス停



印旛沼公園展望台から沼を望む



ヒヨドリジョウゴの実



ハラビロトンボ



エサキモンキツノカメムシ

D-3



師戸の湧水池

宗像神社（師戸）
 長円寺
 湧水の池あり
 印旛沼が一望、初日の出スポット
 県立印旛沼公園（師戸城跡）
 「師戸」バス停
 葦原を飛ぶタカ類や水鳥の観察に最適
 舟戸大橋
 西印旛沼

D-1

千葉ニュータウン中央駅
 北総花の丘公園（花と緑の文化館）
 ニュータウン大橋
 オオハクチョウやカモたちの越冬地
 野鳥観察施設
 武西の百庚申塚
 武西学園台南街区公園
 池の雄大な景色と池越しのビル群
 トンボやチョウ、カタツムリ、時にはカワセミも
 自然生態園
 切り通しの道は夏でも涼しい
 アカガエルの卵やジュウニヒトエなどの野草が見られる

ハンノキ林の谷津と集落を歩く



民話「そうふけっばらのきつね」の里を歩く

印旛飛行場跡地に立つスタジイの古木
 西の原公園
 草深公園
 ふれあい文化館
 そうふけふれあいの里
 丸山観音堂
 稲荷神社（草深）
 明光院
 戦時中の飛行機格納庫は市指定文化財
 草深の森
 大日塚
 草深の森
 緑豊かな市民の森は森林浴と動植物観察に最適
 牧の原出張所
 印西牧の原駅
 東の原公園
 草深の森

距離：約6km

- 印西牧の原駅
- 草深公園
- ふれあい文化館
- 西の原公園
- そうふけふれあいの里
- 草深の森
- 丸山観音堂
- 稲荷神社（草深）
- 掩体壕
- 東の原公園
- 印西牧の原駅

草深・東の原地区

武西・戸神地区



戸神川防災調節池の水鳥

- 千葉ニュータウン中央駅
- 武西の百庚申塚
- 武西谷津ハンノキ林
- 武西谷津
- 安養寺
- 宗像神社（戸神）
- 戸神谷津
- 北総花の丘公園（自然生態園→花と緑の文化館）
- 戸神集落
- 北総花の丘公園（野鳥観察施設）
- ニュータウン大橋
- 千葉ニュータウン中央駅

距離：戸神谷津経由 約7km
 戸神集落経由 約7km

ジュウニヒトエ

発行 平成29年3月 印西ウエットランドガイド・印西市環境保全課（協働作成）

- ニホンカナヘビ
- ナミハナアブ
- オオカマキリ
- 印旛飛行場跡に残るスタジイの古木
- おだかげ（稲の天日干し）
- クリの実
- サギの勢ぞろい（アマサギとチュウサギ&カルガモ）
- ナガメ（カメムシ科）
- 市の鳥 メジロ
- シュラン
- ツマグロヒョウモン
- ニホンマムシ
- トウキョウヒメハンミョウ
- ナガエツルノゲイトウ（特定外来生物）
- 師戸城跡（現印旛沼公園）空堀
- メマツヨイゲサのロゼット
- ミスジマイマイ